

鴻巣市教育委員会告示第16号

鴻巣市スクールバス運行管理に関する要綱を次のように定める。

令和3年10月19日

鴻巣市教育委員会教育長 望 月 栄

鴻巣市スクールバス運行管理に関する要綱

(趣旨)

第1条 この告示は、鴻巣市立小・中学校の適正規模及び適正配置に伴い通学区域の変更が行われた学校の児童及び生徒（以下「児童生徒」という。）の通学の安全確保及び負担軽減を図るために鴻巣市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が運行するスクールバスの運行管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

(対象者等)

第2条 スクールバスを利用することができる者（以下「対象者」という。）は、別表の左欄に掲げる学校に通学する児童生徒のうち、同表の右欄に掲げる通学区域に住所を有するものであって、かつ、当該学校から直線距離で2kmを超える区域から通学するものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りではない。

2 スクールバスを利用することができるのは、次に掲げるときとする。

- (1) 対象者が登下校に利用するとき。
- (2) 対象者が休日の学校行事等に参加するとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認めるとき。

(利用申込等)

第3条 スクールバスを利用しようとする対象者（以下「利用者」という。）の保護者は、鴻巣市スクールバス利用申込書（様式第1号。以下「申込書」という。）を、通学する学校の校長（以下「校長」とい

う。)に提出しなければならない。

- 2 校長は、前項の規定による申込書の提出があったときは、当該申込書を速やかに教育委員会に提出しなければならない。

(利用の休止)

第4条 スクールバスの利用を休止しようとする利用者の保護者は、鴻巣市スクールバス利用休止届(様式第2号。以下「休止届」という。)を、校長に提出しなければならない。

- 2 校長は、前項の規定による休止届の提出があったときは、当該休止届を速やかに教育委員会に提出しなければならない。

(利用者の遵守事項)

第5条 利用者は、教育委員会が別に定める遵守事項に従って、スクールバスを利用しなければならない。

(利用の制限)

第6条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用者に対しスクールバスの利用を停止することができる。

- (1) 利用者が第2条第1項に規定する要件に該当しなくなったとき。
- (2) 利用者が前条の規定による遵守事項に著しく違反していると認められるとき。

(運行計画等)

第7条 校長は、鴻巣市スクールバス年間運行計画書(様式第3号)及び鴻巣市スクールバス利用者名簿(様式第4号。以下「利用者名簿」という。)を運行年度の前年度末までに作成し、教育委員会に提出しなければならない。

- 2 校長は、年間運行計画書又は利用者名簿に変更が生じた場合は、変更した年間運行計画書又は利用者名簿を教育委員会に提出しなければならない。
- 3 校長は、鴻巣市スクールバス月間運行計画書(様式第5号。以下「月間運行計画書」という。)を運行月の前月10日までに作成し、教育委員会及び利用者の保護者に提出しなければならない。
- 4 校長は、月間運行計画書に変更が生じた場合は、変更した月間運行計

画書を教育委員会及び利用者の保護者に提出しなければならない。

（運行の委託）

第 8 条 教育委員会は、スクールバスの運行管理業務を、適切な事業運営が確保できると認められる事業者等に委託することができる。

（その他）

第 9 条 この告示に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

別表（第 2 条関係）

学校名	通学区域
鴻巣市立鴻巣中央小学校	笠原、郷地、安養寺